

令和2年度 森林環境譲与税を活用した事業の決算状況

事業区分	事業名	事業総額（千円）		当年度 基金への積 立額（千 円）	事業内容	実績	税導入の効果
		うち令和2年度の森林 環境譲与税（千円）	うち他の財源（千 円）				
意向調査の準備作業	森林情報管理システムリース	480	479	1	0	森林情報の整理並びにGISソフト等々のシステム整備を行った。	・パソコン一式並びにGISシステムの整備 ・森林簿、森林整備計画、森林経営計画等の整理)
意向調査	山都町森林意向調査委託	7,920	7,920	0	0	昨年度の職員による意向調査を踏まえ、委託業務による意向調査を発注した。 【委託先】 矢部・清和地区 緑川森林組合 蘇陽地区 阿蘇森林組合	実施人工林面積 1,168ha 対象森林所有者 200名
協議会負担金	南郷檜ブランド推進協議会負担金	759	759	0	0	国内唯一の挿し木ヒノキである南郷檜をPRするため、阿蘇周辺の市町村によって運営されている「阿蘇南郷檜ブランド推進協議会」の負担金。	案内看板の設置等
基金積立（森林整備等）	山都町森林環境整備基金	47,426	47,420	6	47,426	意向調査実施後、町営森林管理事業の実施が増加することが予測されるため、基金として積み立てるもの。新町立体育館及び新道の駅の建設が予定されていることから、それらの木質化に向けても利用を検討していく。	

昨年度はモデル地区を選定し、職員による意向調査を実施した。その結果を踏まえ、山都町の意向調査計画を策定し、委託による意向調査を本格的に開始した。本委託業務では、現地調査も実施しており、放置山林の現状を把握することができた。来年度以降も引き続き意向調査を実施しつつ、放置山林への施業を含めて検討していく予定である。

また、南郷檜ブランド推進協議会を活用し、南郷檜のPRを進めている。近隣市町村との連携を図ることもできており、今後他自治体との協力体制の構築を進めていく。残額分については、山都町森林環境整備基金として積み立てを行った。これは、意向調査後に実施予定の森林整備、並びに新体育館及び新道の駅等の木質化に向け利用していく予定である。